

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 令和5年2月24日

事業所名： 西条市児童発達支援かがやき園

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

Table with 5 main columns: 区分, チェック項目, 事業所の現状評価 (with sub-columns for 高い, どちらともいえない, 低い), 保護者の方の評価 (with sub-columns for 高い, どちらともいえない, いいえ, わからない), and 評価を踏まえた改善内容・改善目標. Rows are categorized by 環境・体制整備, 業務改善, and 適切な支援の提供.

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
適切な支援の提供 (続き)	4	6	0	0	・園内研修会で児童の状態に応じて、適切な支援かを見直す。	15	0	0	3	・優しく丁寧に対応して頂き安心できる。 ・通園回数が少なかったため、分からない。	・園内研修で意見交換し、適切な支援について担当職員を中心に具体的に考える。
	5	6	0	0	・その日のリーダーを中心に活動プログラムについて話し合う。						・毎日の振り返りを積み重ねていくことで、全職員でよりよい活動プログラムを作成していく。
	6	6	0	0	・変化が苦手な児童のことも考慮し、全職員で意見を出し合いながら、固定化しないように工夫している。	15	1	1	1	・見直しをして計画を立て直して目標を決めている。とても有難い。 ・色々な活動を用意してくれる。 ・毎回色々な事を体験させてくれる。	・活動プログラムの変化に敏感な児童が不安にならない工夫もする。
	7	0	6	0	・長期休暇中の相談については電話で対応した。						・今後も電話での対応を続けていく。
	8	6	0	0	・必ず毎朝来園する予定の児童についての情報を確認する。その日のリーダーを中心に一日のスケジュールを確認しながら、準備の見直しを行う。						・支援開始前の細かな打ち合わせや確認、準備の見直しを継続する。
	9	6	0	0	・支援終了後、必ず振り返りを行い、個人の記録をする。気付いた点を共有し、次の療育につなげるようにしている。						・職員間で情報交換を行い、適切な支援につながるようにする。
	10	6	0	0	・来園した児童の様子を伝え合いながら、個人記録を行う。・支援方法や内容などについて意見交換を行う。						・適切な支援につながるように、担当以外の職員にも確認しながら記録を継続する。
11	6	0	0	・半年ごとの目標、支援方法などは適切であったかを振り返る。						・半年ごとに限らず必要に応じて、短期間での見直しを行う。	
関係機関との連携	1	5	1	0	・ケース会議の日などに担当職員が参加する。必ず全職員に報告をする。						・報告を受けることで、担当以外の職員も適切な支援方法をより身につけていく。
	2	3	3	0	・医療的ケアができる職員がいないため、保護者が行う。他機関との連携についても保護者からの情報収集を基に支援を実施している。						・関係機関との連携については、検討していく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
関係機関との連携（続き）	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	3	3	0	・月2回のPT/ハビリの担当から助言をいただく。						・関係機関との連携については、検討していく。
	4	児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	4	2	0	・必要に応じて就園や就学前と一緒に見学したり、出来る限りの情報共有を行っているが、もっと連携する必要があると思う。						・もっと連携し、交流できることを目標にする。
	5	他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	0	6	0	・必要に応じて直接、又は保護者を通して情報提供を行ってきた。						・今後も円滑に移行できるように必要に応じて情報提供を行う。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	2	1	3	・新型コロナウイルス感染症予防のため、十分な連携や研修の受講ができていない。						・できる限りの情報収集に努め、職員研修を継続していく。
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	3	0	3	・安全面が確保できていないため、交流できていないので、安全面が確保できるようであれば、検討していきたい。	5	2	4	7	・かがやき園利用日以外の日は保育園に行っている。 ・通園回数が少ないため分からない。 ・まだ機会がない。 ・週1～2回の児童発達支援と別で幼稚園に通っている。	・安全面が確保できる交流については、検討していく。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	0	0	6	・安全面、衛生面が確保できないため、交流ができていないので、安全面と衛生面が確保できるようであれば、検討していきたい。						・安全面・衛生面が確保できる交流については、検討していく。
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	6	0	0	・契約時に説明している。支援の内容についても、個別に話をしている。	17	0	0	0	・その時不安や相談があればきいて説明してもらっている。	・契約時に丁寧な説明を心掛けたと同時に、支援の内容については、契約後も個別での説明を継続する。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	6	0	0	・個別で、支援計画を基に成長の様子、支援内容についてなど話し合いを行う。	18	0	0	0	・細かい所まで分かるように説明してもらっている。	・今後も個別での丁寧な説明に心掛ける。
3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	5	1	0	・児童の状態に応じて、どのように対応すればいいのかなどを療育の中で保護者に学んで頂いている。	12	2	0	4	・こういう声かけをしてはどうか。という提案をしてもらったことが何度もある。	・保護者にとって、情報交換する大切な場所になっている。今後も丁寧な対応に心掛ける。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4		6	0	0	園と家庭での様子を伝え合うことで、信頼関係を深め、共通理解につながっている。	18	0	0	0	・私も先生方へ常に最近の子どもの様子を伝えて出来るだけ理解できるように心掛けています。 ・細かな目配りのおかげで家庭では見られない様子が知れて嬉しい。 ・いつも家庭でどのような感じかを聞いてくれる。	・今後も児童の情報交換をする中で、保護者と一緒に考えていく。
	5		5	1	0	・相談を受けた時は、丁寧に対応する。相談の内容によっては適切な対応ができる職員の助言を得る。	18	0	0	0	・相談事があればその都度聞いている。 ・現状や困り事の相談に対してアドバイス等してくれる。 ・親の困り事や相談に優しく寄り添い、応援と気配りに対して感謝している。 ・親の心の支えになっている。 ・毎月面談してくれる。 ・何かあった時、すぐに相談できる安心感がある。	・相談しやすい場になるように、保護者との信頼関係を築いていく。
	6		0	4	2	・親子通園の日は、保護者同士が情報交換できる時間を作っている。必要に応じて連携支援を行う。	6	2	3	7	・仲良くなった保護者の方と一緒に子どもたちを見守っていただくとと思う。 ・コロナ禍なので仕方ないと思う。 ・通園回数が少なかったため分からない。	・今後も保護者同士が情報交換できる時間を作る。
	7		6	0	0	・苦情を受けた場合は、全職員が共通意識をもって対応する。	10	0	0	8	・苦情は聞かないが、コロナのことで状況が変わるとすぐに伝えてもらうことができた。 ・苦情を言ったことがないので分からない。 ・通園回数が少ないため分からない。	・苦情に対しては真摯に受け止め、保護者の気持ちに寄り添いながら取り組む。
	8		6	0	0	・コミュニケーションがとれるように、適切な支援方法を考える。	18	0	0	0	・一緒になって親身に対応してくれる。	・今後も児童の特性に応じた支援方法を考え、意思疎通ができるようにする。
	9		6	0	0	・毎月の園だよりで必要な事を伝えている。	13	1	0	4	・月に一度プリントをみて活動を確認できる。	・毎月の園だよりに対して質問を受けた場合は個別に説明を行う。
	10		6	0	0	・個人情報の取り扱いについては職員間で毎日確認している。	17	1	0	0	・何かのコピーをとる場合、必ず確認してもらっている。	・今後も毎日の確認を継続し、個人情報を大切に扱うことを徹底する。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の 対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	3	3	0	・マニュアルによっては周知徹底できていないものがあるので見直しを行う。	8	3	2	4	・説明してもらい安心して通園できている。	・それぞれのマニュアルの見直しを行うとともに周知徹底する。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的避難、救出その他必要な訓練の実施	1	5	0	・総合福祉センター全体で定期的に訓練を実施してきた。	5	3	2	8	・訓練のタイミングで居合わせたことがないのでわからない。 ・通園回数都合で訓練の日に行けていない。	・総合福祉センター全体の避難訓練に参加することを続けると共に、単独の訓練も検討していく。
非常時等の 対応（続き）	3 虐待を防止するための職員研修会の確保等の適切な対応	4	2	0	・虐待を防止するための園内研修会を全職員で行う。						・虐待を防止するための園内研修会を定期的に行うと共に、防止体制を見直し整える。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	4	2	0	・装具などの着脱については一緒に来園している保護者にして頂く。						・装具などの着脱を職員がする必要がある場合は、事前に説明・了解を得て、支援計画への記載を行う。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	2	4	0	・保護者からの情報に基づいて対応している。 ・給食設備がないので、全員お弁当を持ってきている。						・今後も児童の身体の状態に合うお弁当を用意して頂く。・職員間で情報交換を行い、正確に把握しておく。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	5	1	0	・事例集を作成し、その日のうちに原因と対応についての話し合いを行う。						・事例についての話し合いを行うと共に、安全に過ごすために環境の見直しを行う。